

平成20年度 徳島県田園環境検討委員会（第1回）会議録

日 時：委員会 平成20年11月6日（木）13時30分から16時10分

場 所：阿南市那賀川町
徳島県庁10階特別大会議室

出席者：【委員】上月康則副委員長、伊沢幸雄、茨木靖、
植田美恵子、大栗邦子、桑田トシエ、田村典子
（アウエオ順敬称略、10名中7名出席）
【県】農林水産部次長、農地整備課長ほか

委員会次第：1 開 会
2 開会のあいさつ
3 議事（1）現地視察：経営体育成基盤整備事業 今津南部地区
（2）農業農村整備事業新規予定地区の
「環境との調和への配慮」について
4 閉会のあいさつ
5 閉 会

《配布資料》

資料1 会議次第
資料2 配席図
資料3 環境配慮調書

会議録：1 開 会
2 開会のあいさつ：農林水産部次長
3 議事（1）現地視察：経営体育成基盤整備事業 今津南部地区
議事（2）平成21年度農業農村整備事業新規予定地区の
「環境との調和への配慮」について、県担当者より説明。

主な質疑・意見等概要（個別地区）

（1）経営体育成基盤整備事業 大幸地区

【委員】

大幸地区は、段関地区と同様に希少な植物の生育している環境が残されているので、環境配慮をしっかりとしてほしい。

排水路の、環境配慮護岸以外の路線での配慮はどのようなものか。

【県】

排水路の曲がり部等で、幅に余裕がある部分に、よどみを設け中水性植物を繁茂させる空間を設けることを考えている。

【委員】

配慮護岸は、徳島大学から段関地区で提案のあった内容の配慮を行うのか。

【県】

徳島大学からの提案を取り入れた、配慮を行う。

【委員】

配慮護岸の工事はいつ頃になるのか。

【県】

未定。

【委員】

できることなら、配慮護岸は、段関地区で工事をしながら、大幸地区に良い工法を取り入れれば良いと思うので、できるだけ後に工事をするよう検討をしてほしい。

【県】

地元と協議する。

【委員】

隣の段関地区で、魚道を付けている農家を知っている。

カワバタモロコは、魚道を通りレンコン田に入るのか。

大幸地区でも、魚道を付けてはどうか。

【県】

カワバタモロコが、魚道を通りレンコン田に入るのかは、よくわからない。

協力してもらえる農家がいれば、魚道の設置を行う。

【委員】

段関地区では、環境配慮のモデル地区の取り組みを進めていると聞いている。

段関地区の検討内容を、大幸でも取り入れるとよいと思う。

この地域は、田園環境検討委員会で審議した地区の中で、代表的な段関地区と並ぶ地区であると思う。

希少種も多い環境の残された地域である。

環境首都とくしまの名にかけて、この地域の生物多様性の環境を守ってほしいと思う。

ぜひ、地域の人々の理解を得られるように説明をして取り組んでほしい。

大学で示したいいくつかの工法案の中で、できるだけ配慮した工法でできるような、取り組みをしてほしい。

水田環境の保全に地元と協同して取り組めれば良いと思う。

徳島県は、下水道が遅れていて、この地域でも下水道が整備されていない。

生活排水が排水路に流れ込み、水質が悪くなってきている。

この地域の排水路の水の中の酸素がなくなってきている。

田園環境を守るため、水質の改善にも取り組んでほしい。

【委員】

この地域は、国営事業の下流域地区で用水が整備される予定なので、将来、環境配慮のためのフラッシュ用水等を考えてみてはどうか。

(2) 農免農道事業 大麻西2期地区

【委員】

橋の工事箇所、希少種が多く生育しているが、工事はどのようになるのか。

【県】

橋台と橋脚の工事は完成しており、あとは上部の工事なので、特に現況を大きく変える工事ではない。

【委員】

道路計画の直接の土地でなく、付近の土地に希少種が多く生育している。

工事機械や材料により影響しないようにしてください。

【県】

現場での対応に注意します。

(3) その他

【委員】

この委員会は平成14年度から始まり今までに多くの地区で詳細に調査をしてきている。

このデータを生かし、将来これらの地区の付近で事業を行う場合に、役立ててください。

4 閉会のあいさつ：農地整備課長からあいさつ

5 閉会